

<日本の谚语>-地以久居为安

人们往往会由于种种理由离开一直住惯的地方，不得不住在陌生地方。在那里，不但没有一个可依靠的亲朋好友，而且比以前住的地方还带有乡土气息，气候、风土和语言也都完全不同。人们由于生活不便及孤身一人深感寂寞，一开始无论如何也没有适应新的环境而拼命的积极心情，但在居住过程中创造了只有自己才能体会到的舒适空间，在居处附近找到了能愉快度过快乐时光的地方，结交了新的朋友，不知不觉中发现这个地方是适合自己的舒适地方、即所谓“都城”。

“地以久居为安”这句谚语反映了“不论哪个地方，当住惯了以后就会觉得这个地方最舒适”。所谓“都城”一般指国家的首都或大都会，人口多，在政治、经济和文化等所有方面为中心地带。在古时候，都城以外的地方一般又寂寞又不方便，所以(都城)转为适合居住之地的意思。“地以久居为安”这个谚语决不是“假如要住的话，还是住大城市好”的意思。

那为什么人们会把感到在陌生的地方转而认为“地以久居为安”的呢？关键是接受了陌生事物，在于把它变为自己的事而具有了享受的适应能力。具有不怕陌生的好奇心和探求心等。对迄今为止完全不懂的东西逐渐了解的过程能够使自己不断成长。

不管何处都能争取将其作为自己的“都城”为舒适地生活所必要的东西，为此去寻找对深爱此土地的那些东西、自己去把它创造出来。对什么都要积极进取努力。不管什么时候都要“地以久居为安”地去生活。

<日本のことわざ> -住めば都-

ある人が様々な事情でそれまで住み慣れた土地を離れ、未知の地に住まなければならなくなりました。そこには、親類や知人など頼りになる人がひとりもない上に、今まで住んでいたところよりも鄙びており、気候風土や言葉も全く違います。生活の不便さや独りぼっちな寂しさから、はじめは新しい環境に馴染んで頑張っていこうという前向きな気持ちにどうしてもなれなかったのですが、住まいの中に自分なりの快適な空間を作ったり、近所に楽しい時間を過ごせる場所を見つけたり、新しい友人ができたりして、いつしかそこがその人にとって居心地の良い場所、いわば「都」となったそうです。

「住めば都」ということわざは、このように「どんな所でも住み慣れるとそこが最も居心地良く思われてくる」ことを表しています。「都」とは一般的にはその国の首都、また都会という意味で、人口が多く、政治・経済・文化などあらゆる面で中心となる地のこと。昔は都以外の場所は淋しくて不便なところが多かったので、転じて暮らし良い場所という意味合いもありますが、「住めば都」というこのことわざは決して「住むなら都」という意味ではありません。

さて、それでは、どうしてこの人は未知だった地を「住めば都」と思えるようになったのでしょうか。その鍵は、未知なるものを受け入れ、自分のものとして楽しむ適応力にあります。未知なるものを畏れない好奇心や探求心など。今まで全く知らなかったことを知っていく過程は自分を一回りも二回りも成長させてくれるでしょう。

どのような場所も自分なりの「都」として快適に生活するために必要なこと、それはその地に愛着の持てる何かを探し出したり自分で作り出したりして、何事も積極的に取り組むことです。どんなときも「住めば都」と暮らしていけると良いですね。